

- イベントタイトル** 海と森をつなぐ学習会
- イベントの目的** 県土の7割を占める森林と海との関係を知ることで、次代を担う子どもたちが環境への意識を醸成する事を目的とする。
- 日 程** 平成28年7月28日(木曜日)
- 開催場所** テレビ大分本社会議室、住吉泊地、うみたまご、おさる館
- 参加人数** 18名
- 主催** 海と日本プロジェクト in 大分県実行委員会
- 協力** ・公益社団法人「別府湾をきれいにする会」
・大分大学名誉教授
NPO法人「おおいた水フォーラム」理事・事務局長 川野たみお先生
・水族館「うみたまご」
・NPO法人「水辺に遊ぶ会」理事長 足利由紀子先生
・公益社団法人森林ネットおおいた

▼公益社団法人「別府湾をきれいにする会」
常務理事・事務局長 大國英明さんのお話



▲川の水と海の水の違いや、海の生物を育てる栄養は森で育まれ川を伝わって海に運ばれてくるんだということを色々な実験をとおして学習。



▲水辺はどんな環境で、どんな生き物たちが暮らしているのかを学びました。



▲海上清掃船「清海」へ乗船体験



▲水族館「うみたまご」の見学と学芸員の方のお話

参加した子どもたちのあたたかい
声をいただきました。
ご参加ありがとうございました。

<学習して感じたこと>

- ・海がきれいなのは山がきれいだからと、足利先生のはなしでわかり、もっと山をきれいにしていこうと感じました。
- ・山に住んでいる人たちが、森を大切にすることで海も大切にしていることがわかった。
- ・海と森のつながりは、とても大切なんだなあと思いました。

<海を守るためにやりたいこと>

- ・海の近くにゴミを捨てると、風などで海に飛んでいくので海の近くにはゴミを捨てないようにしたい
- ・海を守るためにまず森をキレイにして海もキレイにしたい
- ・海の中にたくさんのゴミがあったので、ゴミはゴミ箱にきちんと入れてきれいな海にしたい

<印象に残ったこと>

- ・海上清掃船「清海」にのって、ゴミを集めていることやびみが自分の想像より多かったこと。
- ・川野たみお先生の海と森のかかわりの勉強が印象に残りました。
- ・今まで海と全然関係ないと思って森の活動をやってきたけど海にも関係して良かった。

後日、「大分県みどりの少年団のつどい」で学習会の体験を発表しました。



海と人と人をつなぐ。

海と日本 PROJECT



URL <http://uminohi.jp/> 海と日本プロジェクトは、日本財団、国土交通省、総合海洋政策本部の主催で運営しているプロジェクトです。

わたしたちは、海と日本プロジェクトを推進しています。